

# 九州新幹線長崎ルート開業に伴う J R 博多南線の 存続及び輸送力の維持向上に関する提言書

## はじめに

那珂川市議会では、九州新幹線長崎ルート開業に向け、平成27年9月に博多南線・長崎ルート特別委員会を設置し、九州新幹線長崎ルートの開通が J R 博多南線の運行に及ぼす影響に関する調査、研究を行った。

※平成29年4月から「博多南線・長崎ルート対策特別委員会」に名称を変更した。

## 調査・検討の経過

平成27年 9月25日	博多南線・長崎ルート特別委員会設置
平成28年 4月 6日	陳情・要望活動（国土交通省、副総理兼財務大臣）
平成28年 4月 7日	陳情・要望活動（衆議院議員、参議院議員）
平成28年 5月12日	福岡県交通対策課へ陳情・要望活動の報告及び 情報交換
平成28年 7月25日	九州旅客鉄道株式会社 本社へ陳情・要望活動の 報告及び情報交換
平成29年 7月11日	大阪府篠山市 行政視察
平成29年 7月12日	大阪府箕面市 行政視察
”	西日本旅客鉄道株式会社 本社へ陳情・要望活動 及び意見交換
平成30年 2月23日	西日本旅客鉄道株式会社 福岡支社へ陳情・要望 活動及び意見交換
平成30年 7月 4日	福岡県交通対策課から情報提供及び意見交換
平成30年11月27日	九州旅客鉄道株式会社 本社へ博多南線の現状 及びまちづくりに関する報告並びに意見交換
令和元年 5月15日	J R 中央線 東小金井駅 視察
令和元年 5月16日	京王電鉄 武蔵野台駅 視察

※平成27年9月から令和2年3月までの期間における博多南線・長崎ルート対策特別委員会の開催数は40回。

那珂川市では、平成2年に開業されたJR博多南線〔区間：博多駅―博多南駅間8.5km、所要時間：8分（以下「博多南線」と表記）〕を基幹交通網と位置付け、博多南駅を交通結節点とした町内交通体系の整備や、二度にわたる博多南駅前土地区画整理事業を施工し、博多南駅を中心とした駅前ビル・駅前公園、自転車駐車場、駅前広場の設置など、住民福祉の向上を目指して、博多南線及び博多南駅周辺がより一層充実するように施策を講じているところである。

博多南線は現在、1日56便が運行されており、交通の利便性は高く、開業当時は1日あたり約3,700人であった利用者が、令和元年度には1万6千人を超え、利用者も増加の一途を辿っている状況である。那珂川市はもとより福岡市南区、春日市、大野城市は博多南駅を地域の玄関口として街並みを形成し、関係住民は約30万人に及ぶ主要な交通手段として、交通の利便性向上に伴う地域の活性化並びに地域住民の福祉向上など、周辺地域に無くてはならない生活の基盤として定着している。

このような中、九州新幹線長崎ルートは、令和4年度の「武雄温泉」から「長崎」間のフル規格新幹線と在来線とのリレー方式による先行開業に向け整備が進められているが、一方で「新鳥栖」から「武雄温泉」間については、フル規格新幹線やミニ新幹線等も含め、整備方式の決定には至らず、先行きは不透明な状況となっている。

このような状況ではあるが、九州新幹線長崎ルートが開業した場合には、博多南線と路線を共用することから、博多南線の運行に影響が出るのではないかと強く懸念している。

上記のとおり、調査・検討を重ねた結果、本議会では、博多南線の存続及び輸送力の維持向上について、下記のとおり取りまとめたので、当該提言事項を慎重に検討され対策を講じられるよう提言する。

## 記

### 提言事項

#### 1. 九州新幹線長崎ルート開業後における博多南線の存続について

九州新幹線長崎ルートの開業後においても、博多南線の存続を図ること並びに減便等を行わないよう鉄道事業者（JR西日本、JR九州）へ働きかけること。

#### 2. 博多南線の利便性向上について

博多南線は利便性の高さから、これまで地域の発展に大きく寄与してきた貴重な路線であり、利用者数も年々増え続け、増便等を望む利用者の声も多く聞かれることから、更なる利便性向上を図るため、増便等の輸送力向上を図ることを鉄道事業者（JR西日本）へ働きかけること。

令和2年3月24日

福岡県 那珂川市議会